

成果の説明書

| | |
|---|-------------|
| (氏名) 安田 慎 | (学部) 地域政策学部 |
| 1 重要事項 | |
| 研究 | |
| 下記の研究成果を公表した。 | |
| <書籍> | |
| (1) Yasuda, S., Raj, R. & Griffin, K. eds. 2018. <i>Religious Tourism in Asia: Tradition and Change through Case Studies and Narratives</i> . Wallington: CABI. *“Religious Tourism and Sacred Sites in Asia” (pp. 1-9, Raj, R. & Griffin, K.との共著)、 “Entrepreneurship for Religious Tourism in Mumbai, India” (pp. 21-29) を担当 | |
| (2) Yasuda, S. 2018. Religious Practices and Performance in Syrian Shi’ite Religious Tourism. A. Jamal & R. Raj eds. <i>Islamic Tourism: Management of Travel Destinations</i> . Wallington: CABI. | |
| (3) 安田慎. 2019. 「ハラール・ツーリズムを展望するー情報の非対称性をめぐるソーシャル・イノベーション」民谷栄一、富沢寿勇編『ハラールサイエンスの展望』シーエムシー出版、pp. 181-188. | |
| <論文> | |
| (1) 安田慎. 2019. 「共有されない空間、参照されるリズムーデジタル空間における宗教経験のリズム・フローをめぐる観光的考察」『観光学評論』7(1)、pp. 21-36. | |
| (2) 安田慎. 2019. 「信仰と余暇の狭間でーイスラミック・レジャーとしての宗教観光市場から現代イスラームの社会的心性をまなぐす」『四国遍路と世界の巡礼』4、pp. 49-57. | |
| <学会発表> | |
| (1) Yasuda, S. “Contextualising Islam in a Non-Muslim Country: Tokyo Camii and Mosque Tourism in Japan.” 10th Annual International Religious Tourism and Pilgrimage Conference. Santiago de Compostela University, Santiago de Compostela (Spain). 28 th June 2018. | |
| (2) 安田 慎「共有されない時間、参照されるリズムーイスラームから見るデジタル・デバイスのパフォーマンス」観光学術学会 第7回年次大会、二松学舎大学九段キャンパス、2018年7月7日 | |
| (3) Yasuda, S. “Remembrance of Holy Places: Religious Capital and Syrian Shi’ite Religious Sites in the Era of Crisis.” World Congress for Middle Eastern Studies Seville 2018. Seville University (Spain). 20 July 2018. | |
| (4) Yasuda, S. “Making Pilgrimage in the Marketplace: Reviewing <i>Bisnis Hajj dan Umroh</i> in Indonesia.” International Conference on Future of the Past: Tourism and Cultural Heritage in Asia. Ritsumeikan University, Kyoto (Japan). 7 th August 2018. | |
| (5) 安田慎. 「信仰とレジャーの狭間でーイスラームにおける参詣から社会的心性をまなぐす」愛媛大学 四国遍路・世界の巡礼研究センター 公開シンポジウム・研究集会、愛媛大学、2018年10月28日 | |
| (6) Yasuda, S. “Mapping Islamic Leisure Travel in Non-Islamic Countries: Discussion of Halal Tourism from an East Asian Perspective and Beyond.” EHESS International Workshop on Global Islamic Market: Asian Perspectives on the Diversity of Capitalism. Université PSL (France), 22 th November, 2018. | |

<その他>

- ・査読4本（国際誌2本、国内誌2本）を行った。

教育

- ・担当科目（観光政策論、ツアープランニング論、宗教学、観光学概論、グループ研究、初年次ゼミ）について、それぞれの科目の講義設計を行い、実行した。
- ・サブゼミを開催し、学生と読書会形式の輪読を行った。

社会貢献

- ・写真展「等身大のアジアを生きる」（2018年12月3-14日開催）において、写真の提供を行った。
- ・ラジオ高崎・ラジオゼミナールに出演し、観光政策の現状について話を行った。
- ・オープンキャンパス、ならびに前橋南高校において大学広報活動の一環として模擬授業を行った。

2 その他の事項

<委員等>

- ・Asian Journal for Tourism Research 誌 Science Committee
- ・10th, 11th Religious Tourism and Pilgrimage Conference Science Committee
- ・観光学術学会 広報委員

<共同研究等>

- ・日本学術振興会 科研費 基盤研究(B)「ツーリズムにおける「スピリチュアル・マーケット」の展開の比較研究」研究分担者
- ・日本学術振興会 科研費 基盤研究(A)「イスラーム神秘主義の構造的理解-スーフィズム・タリーカ・聖者信仰複合現象の解明」研究協力者
- ・日本学術振興会 科研費 基盤研究(B)「地中海周辺域における聖者・聖遺物崇敬の人類学的研究」研究協力者
- ・現代中東地域研究 次世代共同研究「アラブ世界における近代的メディアとイスラーム-「穏健主流派」を中心に」メンバー
- ・東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 共同利用・共同研究課題「イスラームに基づく経済活動・行為（第二期）」メンバー
- ・FFJ-PSL-I'IRIS Études Globales project « Global Islamic Market: Asian Perspectives on the Diversity of Capitalism »メンバー

3 次年度以降の計画・抱負

- ・研究：現在編集中の論文、書籍の出版について尽力するとともに、進行中の個人・共同の研究プロジェクトについて、随時研究を進めて発表・論文・書籍の形で社会に還元できるようにする。
- ・教育：・今年度担当した科目について今一度全面的に見直したうえで、観光学・観光政策論の教育カリキュラム内容について更なる体系化を目指す。それとともに、来年度より始まる演習Ⅰの教育カリキュラムを体系立てていく。
 - ・ゼミ生を中心に学生との自主プロジェクトの可能性について模索していく。
- ・社会貢献：社会向けの講座・講演の他、社会に還元できる手法の開拓を目指す。更に、関連学会と連携し、各分野の研究成果の社会への多様な還元の仕方について模索していくとともに、産学官連携を深めていく。